

## 第2章 インターネットプロバイダー

### プロバイダー事業者の動向

### 届け出は4000件突破

資料4-2-1 郵政省に届け出られている国内プロバイダー数の推移

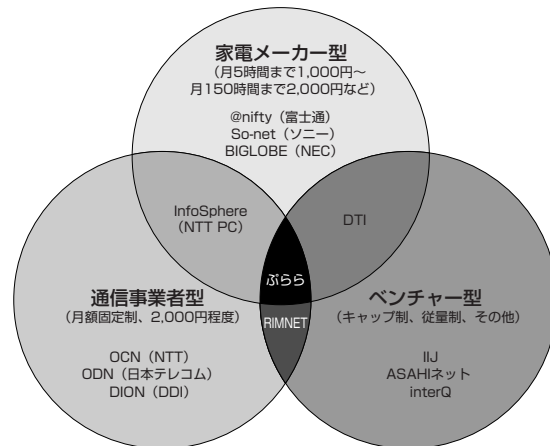
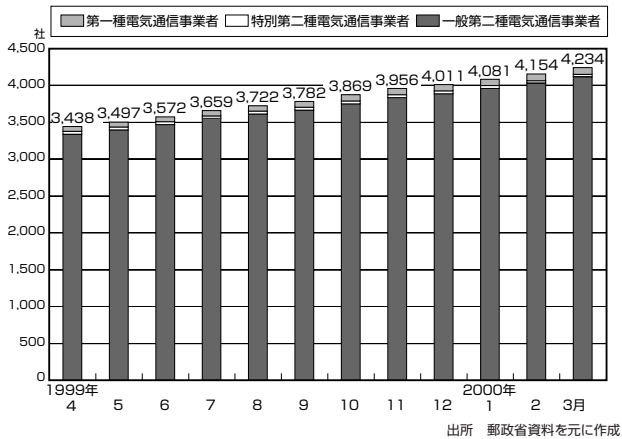
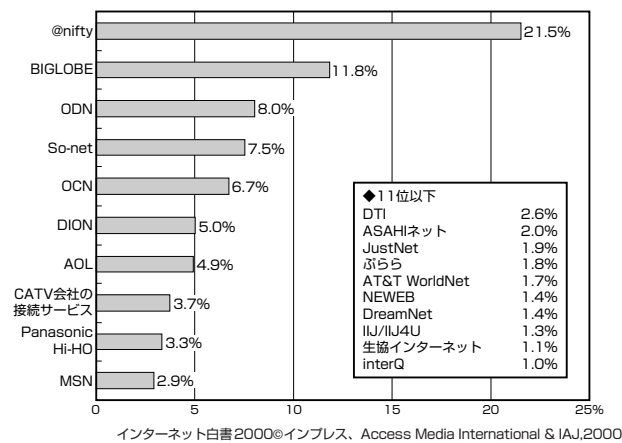


図1 プロバイダーの性格分類（インターネットマガジン2000年5月号を元に作成）

資料4-2-2 個人ユーザーの契約プロバイダー上位10件



資料4-2-3 契約プロバイダー上位各社の会員数

契約プロバイダー名	公表会員数	
	1999年3月末	2000年3月末
1位 @nifty	325.2万人 (nifty+InfoWeb)	370万人
2位 BIGLOBE	268万人	299万人
3位 ODN	30万人+1600 (専用線)	75万人+3100 (専用線)
4位 So-net	50万人	119万人
5位 OCN	47万8000人	100万人突破 (2000年2月9日)
6位 DION	14万3000人+4200 (専用線)	15万6000人+1万4000 (専用線)
7位 AOL	26万人	41万人
8位 CATV会社の接続サービス	—	—
9位 Panasonic Hi-HO	19万2000人	30万6000人
10位 MSN	非公開	非公開

注) 各社のサービス内容が異なるため、公表会員数の定義は企業ごとに異なる

出所 各社資料を元に編集部で作成

## 解説

資料4-2-1が示すとおり、国内プロバイダーの数は依然として増加傾向にある。しかし、郵政省への届け出数だけではプロバイダーの増減が計れない時代になってきた。いわゆる「バーチャルプロバイダー」の登場である。昨年あたりから、芸能人などの名前を付けた接続サービスがいくつか登場している。これらはすべてアクセスポイントや課金システムを既存のプロバイダーにアウトソーシングした仮想のプロバイダーである。「サービスから接続まで」をワンストップで提供するために、このモデルを使った自社ブランドの接続サービスを、今後は多くのEC、金融系の企業が打ち出してくるだろう。

また、資料4-2-2と資料4-2-3を合わせて見ると、契約者数の上位は通信事業者系および家電メーカー系プロバイダーによって占められていることがわかる。自前の回線を持つ通信事業者系は、

2000円を切る月額固定制を打ち出し、家電メーカー系も資金力を背景に、実質、使い放題といえる150時間/2000円コースで対抗する。つまり、「安さ」が人気に大きく影響するというのが昨今の傾向である。そう考えると、月額数千円で常時接続を提供するCATVがベストテンに登場したのもうなずける。しかし、安価な人気プロバイダーで話中が増加するなど、品質面も問題視されはじめている。今後、高品質な通信が要求される銀行や証券のオンラインサービスの普及も見込まれていることから、技術力を売りにするベンチャー系のサービスが見直される可能性もおおいにある。今年以降、ユーザーの指向によってプロバイダーの性格も低価格派と品質派に大きく二極化していくと予想する。

(倉園佳三 インターネットマガジン編集長)



## [インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ [iwp-info@impress.co.jp](mailto:iwp-info@impress.co.jp)